

第 63 回市民専門委員会 会議結果報告

(事務局) 定刻となりました。ただいまより、第63回市民事業専門委員会を開会させていただきます。

本日の出席者は、市民事業専門委員会から増田委員長、谷本副委員長、青砥委員、服部委員、林委員と、委員5名のご出席をいただいております。また、12月16日開催の市民事業交流会と第38回水源環境保全・再生かみながわ県民フォーラムとの共催に伴う意見交換のため、フォーラムチームより森本チームリーダーにご出席いただいております。

(事務局) これより議題に入らせていただきます。それでは増田委員長、よろしくお願い致します。

(増田委員長) それでは、議題に沿って進めてまいります。1番目の議題は、「平成30年度市民事業支援補助金対象事業の募集について」です。資料1-1～資料1-4について、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 事務局より資料(資料1-1～1-4)に基づき説明。

■議題1：平成30年度市民事業支援補助金対象事業の募集について【資料1-1～1-4】

(増田委員長) 資料1-1について何かご意見ありますか。これでよければ通過することになります。

林委員に伺いたいのですが、「かみながわの森と水をささえる。」の丸止めは問題ないですか。

(林委員) 普通はないものだが、最近は丸止めにポイントを置くような話もあるため、よいのではないのでしょうか。

(青砥委員) あえて、付けたのでは。

(増田委員長) インパクトを与えるのにはどうなのか、これは私見なので皆さんがよいと言うのなら問題ないと思います。それでは、丸止めは異論ないということによいですね。

(林委員) 写真を鮮明にしたほうがよいですね。

(増田委員長) 色はこれでよいですか。

(谷本副委員長) デザイナーさんの作ったものだから、色に手を入れなくてもよいのでは。

(増田委員長) 「など」の位置について、ここに唐突にあるような気がします。デザイナーさんの気持ちもわかりますが、読む側の視点に立たないといけません。

(林委員) それには却らないという意味も込められているのでしょうか。

(谷本副委員長) 私は今回初めてなので「対象となる活動の例」がよくわからないため、自分が応募者の立場だったら「対象となる活動の例」へ目が行くと思います。「など」と書かれていても、例示されていることで限定されてしまうように思います。例に含まれる活動は他にはないのでしょうか。

(増田委員長) 初めて応募する方に、自分の活動があてはまらないと思わせないようにする必要がありますね。「例」とあるものの、申請者が全部読まないかもしれないです。

(服部委員) 近頃の方はホームページをよく見られるので、裏面の「詳しいスケジュールや募集要件等は、募集案内をご覧ください。」という記載をどこかへ追加したらどうでしょうか。

(増田委員長) この記載は表面に載せたほうがよいですね。「詳細はホームページで」と記載があればよいと思います。

(谷本副委員長) QRコードを載せるのがよいと思います。ホームページのアドレスを入力するのは面倒ですし、今はスマートフォンが主流なので、気軽に見てもらえると思います。

(増田委員長) 是非、表面に入れてほしい。

(増田委員長) 裏面ではなにかありますか。

(服部委員) チラシはどういうところに配るのですか。

(事務局) 昨年度は神奈川県内の図書館、県政情報センター、県内の市町村、自然環境に携わる事業をしているNPO法人等の団体等約400箇所配布しました。7月の委員会でお話のあった小

田急線沿いの本厚木駅、伊勢原駅、渋沢駅、秦野駅に確認したところ、駅に相応しい内容と判断されれば、構内に置いてもらえるとのことですので、今年度はそこも対象に考えます。

(増田委員長) 小田原駅も効果があるのではないのでしょうか。また、チラシは手で直に配るのがよいので、いろいろな活動をされている公募委員の方に配布の協力をしてもらったらいかがでしょうか。図書館へ置くだけでは可能性が低いからです。

(増田委員長) 県森連や足柄上合同庁舎はどうですか。

(事務局) 県森連はプロの方しかいらっしやらないので。

(事務局) 足柄上合同庁舎へは配架予定です。

(青砥委員) 市町村が行うイベントで配布したらどうでしょう。厚木なら、私のところで配ることができる。

(増田委員長) 県西地域のブルックスコーヒーは未病に特化した施設ができるし、山へ行く人が立ち寄る場所なのでよいと思います。

(谷本副委員長) チラシの中身についてですが、「上限額」ではなく、「補助上限額」のほうが親切だと思います。申請の上限額なのか、補助してもらえる上限額なのか、ぱっと見ただけではわからないので。

(増田委員長) 申請する方に、わかりやすいほうがよいですね。本当はこれ一枚でわかるようにしたいのですが。

(青砥委員) 先ほどの話もあるように、これを見て、ホームページへパッとつながるとよい。

(増田委員長) 桂川・相模川流域協議会のメンバーにも配布してもらってはどうか。メンバーの中には関連団体と接点がある場合もありますし、流域協議会は大学との協働をしていた様に記憶しています。

(増田委員長) それではまとめますと、チラシに関しては表面にQRコード及び「詳細はホームページで」を追加、裏面は「補助上限額」と記載するというところで。

(谷本副委員長) 左上の丸の「募集案内11月発行・HP掲載」という文言は長いので、「11月」は不用では。

(増田委員長) チラシなので年間通して使えるほうがよい。

(青砥委員) 今年分だとわかるように2017年度と入れたほうがよいのでは。

(増田委員長) 毎年、チラシをリニューアルするかどうかはわからないので、記載しないほうがよいでしょう。

(事務局) 左上の丸はどうしますか。

(谷本副委員長) しずくちゃんを入れたいが、色が合わないなので、「ご利用ください」等では、しずくちゃんをここへ入れるかどうかは、デザイナーさんと相談して。

(増田委員長) 背景の色を変えて、しずくちゃんを入れてもよい。ラックへ入れることを考えると、上にインパクトのあるタイトルを入れたほうが目立ってよい。

(増田委員長) グリーンにしたのは、自然・森林を感じられるようにということですか。

(事務局) そのとおりです。

(増田委員長) ここに関しては、事務局にお任せしますが、9/23、9/24のフォーラムが一番タイムリーなチャンスなので、是非配りたいですね。

■議題2：市民事業現場訪問について【資料2-1～2-4】

(増田委員長) それでは、議題2、市民事業現場訪問について、事務局からご説明をお願いします。

(事務局) 事務局より資料（資料2-1～2-4）に基づき説明。

市民事業現場訪問ヒアリングシート（資料2-2）

(服部委員) 「活動のきっかけなど」や「活動内容」は、聞いても意味がないと思うのですが。

(増田委員長) すでに知っているのです、必要ないですね。

(増田委員長) 他に入れたい項目はありますか。

(林委員) 項目を決めなくても、昨年のように歩きながら話を、こういう問題があるのですね、というような共通認識を持つ感じで、よいと思います。

(増田委員長) 箇条書き程度で書いておいてもらえばよいのでは。ポイントが入っていれば、話の流れの中で聞くことができるでしょう。例えば「課題はどうなのか」など。

(谷本副委員長) 事業の進捗具合についての項目を入れてはどうか。

(増田委員長) あとは、事業の効果についても入れてはどうか。キーワード的なものを欄外に書いておいてほしい。

■議題3：市民事業交流会について【資料3-1～3-2】

(増田委員長) 続きまして、議題3、市民事業交流会について、事務局からご説明をお願いします。

(事務局) 事務局より資料(資料3-1～3-2)に基づき説明。

(増田委員長) 今日は県民フォーラムチームの森本リーダーに来てもらっているので、最初にご意見をどうぞ。

(森本委員) 先日の県民フォーラムチームの打合せでは、いろいろな意見が出たが、市民事業交流会とコラボするのであれば、参加者をより多く集められるよう頑張ろうということになりました。また、平成30年度市民事業補助金申請の個別相談会をやったらどうかという意見があり、将来の市民事業支援補助金を活用してくれそうな団体を発掘するためにも、様々な相談のってほしいと思います。そして、一般市民も来るので補助団体への寄付金や販売可能な団体には、寄付金や販売ができるよう配慮してあげるとよいと思うのですが、厳しいでしょうか。

(事務局) 会場のユニコムプラザ相模原は、物販をするかしないかで使用料が決まります。今回は物販をしない形態で使用料を支払うのですが、神奈川県に寄付金や物販収入が入らないのであれば問題ないです。

(増田委員長) 寄付金や物販ができることを、共通認識として団体へ周知して下さい。

(事務局) はい。

(森本委員) 物販、募金もできるということになれば、売り子さんも出てきて、結果的に人も増えるでしょう。

(増田委員長) 県民フォーラムと共同開催という話が出ましたが、市民事業専門委員会はどのような立ち位置で参加することになるのでしょうか。

(事務局) 市民事業専門委員会として参加することは考えていなかったのですが、その調整はしていなかったのですが。

(増田委員長) 県民フォーラムは自主参加ではあるが、市民事業団体が参加するので、市民事業専門委員も可能な限り参加してほしいという認識でよろしいですか。

(林委員) それでよい。

(服部委員) 例年通りで。

(増田委員長) 他に何か質問はありますか。

(林委員) フォーラム閉会后、参加者はそこで帰り、補助事業団体の見学等をされる方は16時までいるということになりますか。

(事務局) はい。

(森本委員) 県民フォーラム開催中の1時間半の間は、出来る限り、出展団体の方もフォーラムに参加していただきたいと考えています。

(増田委員長) 出来ることならば、フォーラムにてアピールしてほしいが、市民補助団体の方が発言する場はないですか。

(森本委員) ミニ講演に関する質疑応答の時間はとりますが、市民事業の方に特化した時間は設けていません。私は市民事業専門委員会の方々には交流会へぜひ参加してほしいと思っています。できれば本音ベースでの要望等を聞き出してほしいです。

(青砥委員) ミニ講演の間は水源環境保全に関わるので一般の方もいらっしゃるが、始めと終わりの展示の時間は、市民事業関係の方だけになってしまう気がしますが。

(増田委員長) 本当の意味での共同開催をするのであれば、県民フォーラムの本体の中に時間をとって、補助団体が展示をして、課題等の発言をして、一般の方に補助金を受けてこういう活動をしているというアピー

ルをするべき。来場者にフォーラムが終わったらフロアの展示を見てくださいとお願いしても、ほとんどの方は帰ってしまうので、そのあたりの工夫が必要ですね。今回は決定済みだが、次回は考慮していただきたい。

(森本委員) ミニ講演の渡辺豊博さんは富士山に詳しく、ご本人も市民団体を運営されている。川島委員もシカ問題に特化されてはいるものの、小田原山盛の会という市民団体の方なので、ミスマッチではないと思います。事務局から渡辺さん、川島さんに市民活動団体としての立ち位置からの話をお願いしてもらえば、お互いに接点も増えるのではないのでしょうか。

(増田委員長) 川島さんが私は補助金を受けて、こうやっていると言、言ってくだされば違うと思う。そこはフォーラムチームで打ち合わせをして、市民事業もクローズアップされるような仕掛けをしていただければ。

(服部委員) フォーラムだと、限られた時間で、閉ざされた空間の中で、関心のある人だけにしか伝わらないので、別立てしないとイケない。市民補助団体の方は一般の方にPRしたいはず。

(増田委員長) 新都市プラザで市民事業中心に行ったときは、各団体が一般の方々と色々話げできた。そういう場が必要だと思います。県の税金を使ってどういう取組みをしているかをPRするのが目的であって、一般の方への報告会は必要ないと考えます。

(谷本副委員長) 今回の会場も、一般の方が入ってくるような場所ではないので、団体もPRしづらいですね。パネルなどを作るなら、県民センター等、随時展示する場所があればよいと思うのですが。そのタイミングだけしか展示しないと、こういう時期はイベントが重なっていて、見たいのに見られないことがある。

(増田委員長) 小田原ソルネ小田原という地下街があり、いろいろな人が通るので、そういうところへ市等に依頼して展示できないものでしょうか。各地域で、行政が持っている市民が交流する場に展示したほうが効果がある。

(森本委員) 市民事業支援補助金募集チラシについて、かながわトラストみどり財団、各市町村の市民事業活動センターへも配布してますでしょうか。我々が資金を調達したいときには、そういうところを訪ねますので。

(事務局) どちらも、配架先予定に入っています。

(森本委員) それならよかった。あとは県民センターですね。

(増田委員長) 県民センターは、あまり効果がない。いろいろ調べた結果、地元のほうが効果はありますね。あとは、横浜の各区にある活動センターなど、人口が多いので関心が集まるのではないのでしょうか。

(事務局) こちらも、配架先予定に入っています。

(増田委員長) では以上で、本日の会議は終了します。ありがとうございました。

以 上